

令和元年9月17日

保護者の皆さまへ

薩摩川内市立海星中学校  
校長 瀧上 盛人

生徒作文の新聞掲載について（お知らせ）

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと拝察いたします。かねてより、本校教育活動について御理解と御支援を賜り感謝申し上げます。

さて、9月14日（土）の南日本新聞『若い目』の欄に、1年生の梶原 湊士さんの作文が掲載されましたのでご紹介いたします。

南 日 本 新 聞

若い目

離島交流野球大会

海星中1年

梶原 湊士

僕が離島交流野球大会に参加して学んだことは、団体行動の大切さです。他のチームを見たときに、団体でそろって行動しているチームを見ると強そうだなと思ったり、バラバラに行動しているチームを見ると勝てそうだなと思いました。チームの一体感は、試合のときだけでなく、ふだんからつくり上げていくものなのだと思います。

離島選抜チームは「元気な声とあいさつで、みんなに負けない」という

目標を立て、練習のときから心がけてきました。大会が行われた対馬でも、地域のみなさんに元気なあいさつができました。対馬の方々からたくさん声をかけてもらい、とてもうれしい気持ちになりました。

初めての試合は不安だったし、とても緊張しました。でも守備をしながら声を出したり、バッターボックスに立ったりするのはとても楽しかったです。チームで練習できた時間は少なかつたけれど、楽しかったことやうれしかったことがたくさんありました。監督やコーチに感謝しています。

（薩摩川内市）

